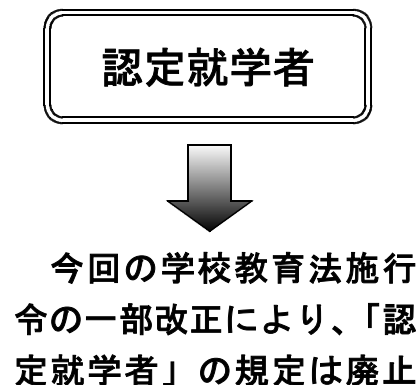
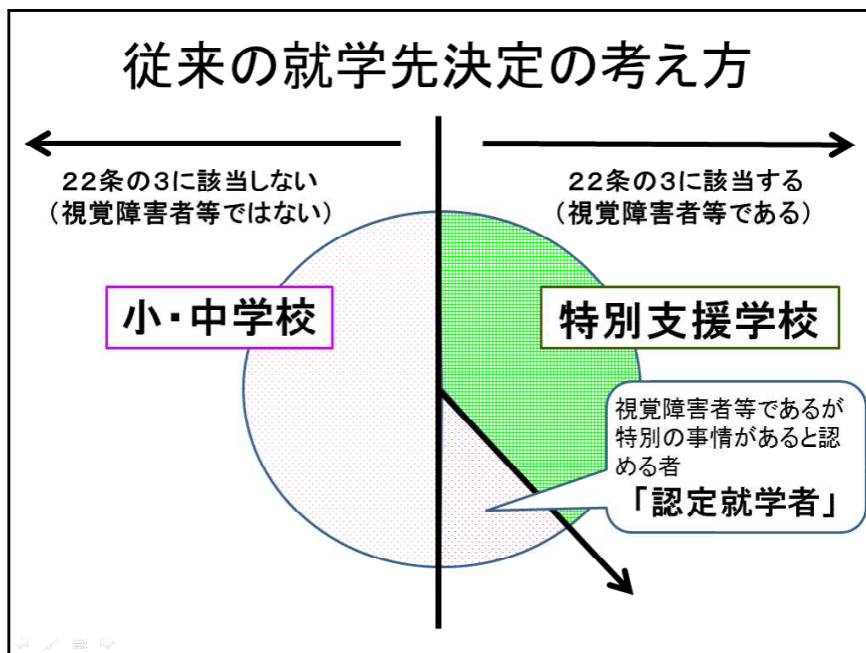
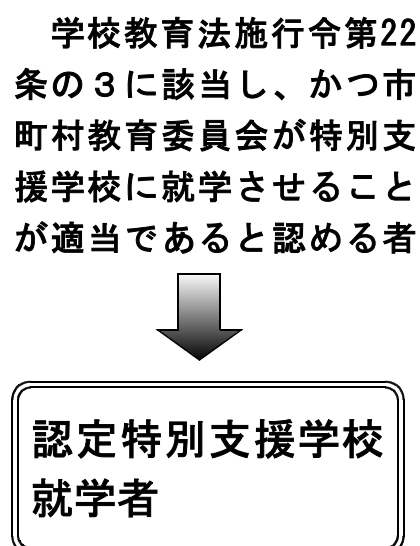
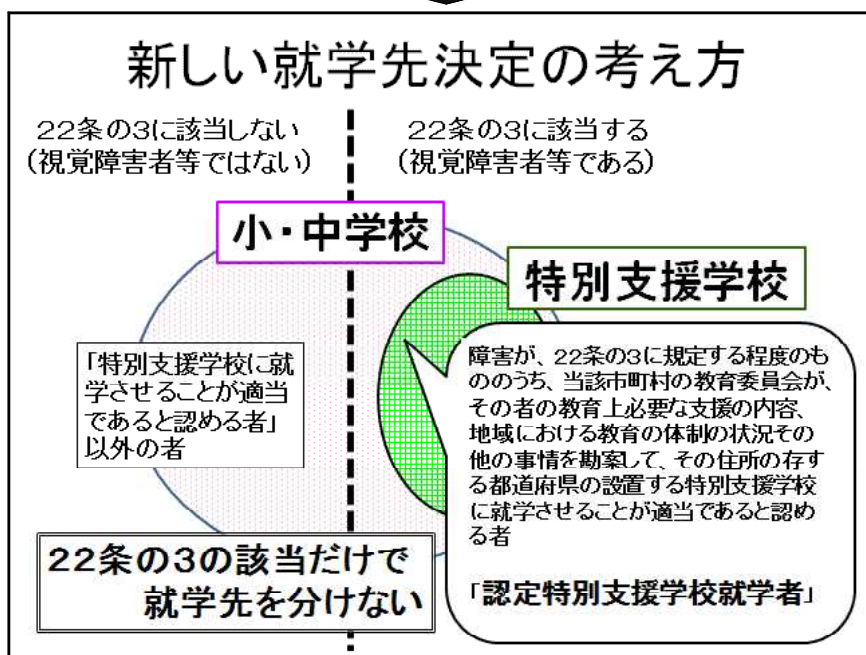


2 「従来の就学先決定の考え方」と「新しい就学先決定の考え方」



従来は、学校教育法施行令第22条の3に該当する児童生徒（P.47 *4 参照）は、原則、特別支援学校への就学とし、市町村教育委員会が特別の事情があると認める場合には、「認定就学者」として小・中学校へ就学することを可能としていました。



今回の一部改正で、学校教育法施行令第22条の3に該当する児童生徒については、市町村教育委員会が、その障がいの状態等をふまえて総合的な観点から就学先を決定する仕組みとなりました。